

科目名	基礎医学講座Ⅲ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	目野 昭治 (専任教員)		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 3年生						
授業概要	解剖学、生理学、運動学について作業療法士国家試験出題頻出範囲を確認し、解説を理解し解答できるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				身体の構造について理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				身体の生理機能について理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				運動に関する構造(筋骨格系)を覚え、運動発生の機序を理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	1)PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編. 南江堂 2)講義資料 3)リハビリ. リハナビ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	2	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	3	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	4	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	5	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	6	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	7	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	8	中枢神経系			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	9	上肢の筋			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	10	下肢・体幹の筋			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	11	バイオメカニクス			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	12	歩行			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	13	運動学習			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
	14	呼吸器			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習		
15	循環器			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 基礎医学編・リハビリを用いて復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを3回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				70%
	小テスト	◎	◎				30%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	臨床医学講座Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	専任教員		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 3年生						
授業概要	様々な疾患の発生機序や症状について作業療法士国家試験出題頻出範囲を確認し、解説を理解し解答できるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				精神心理学の知識を得て、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				神経・筋疾患について理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				運動器疾患について理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				内部障害について理解し、国家試験の過去問が解答できる。	
	○	○				人間発達学の知識を得て、国家試験の過去問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	1)PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編. 南江堂 2)講義資料 3)リハビリル. リハナビ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	精神医学・心理学について			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	2	精神医学・心理学について			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	3	精神医学・心理学について			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	4	精神医学・心理学について			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	5	神経内科学(脳画像)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	6	神経内科学(脳画像)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	7	神経内科学(神経筋疾患)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	8	神経内科学(神経筋疾患)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	9	整形外科(変形性関節症、末梢神経損傷)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	10	整形外科(変形性関節症、末梢神経損傷)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	11	整形外科(脊損)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	12	整形外科(脊損)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	13	人間発達学			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
	14	人間発達学			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習		
15	内科学(代謝性疾患)			PT・OT基礎固め ヒント式トレーニング 臨床医学編・リハビリルを用いて復習			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	◎				50%
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	作業療法セミナー						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	30時間	担当者	専任教員		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 3年生						
授業概要	関連法規、作業療法評価、作業療法治療学について作業療法士国家試験出題頻出範囲を確認し、解説を理解し解答できるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				関連法規の知識を得て、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				作業療法評価法について理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
	○	○				作業療法治療学について理解し、国家試験の過去問題が解答できる。	
テキスト・教材 参考図書	1)講義資料 2)リハビリル. リハナビ						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	関連法規			リハビリルを用いて復習		
	2	研究法について			リハビリルを用いて復習		
	3	作業療法評価について(ROM・MMT・画像診断)			リハビリルを用いて復習		
	4	作業療法評価について(画像)			リハビリルを用いて復習		
	5	義肢装具について			リハビリルを用いて復習		
	6	義肢装具について			リハビリルを用いて復習		
	7	脊損の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	8	脳血管疾患の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	9	脳血管疾患の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	10	高次脳機能障害の評価と作業療法			リハビリルを用いて復習		
	11	神経変性疾患の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	12	内部障害(呼吸器疾患)の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	13	内部障害(ガン)の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	14	精神科分野の作業療法			リハビリルを用いて復習		
	15	発達分野の作業療法(評価・治療)			リハビリルを用いて復習		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				100%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
履修上の注意							

科目名	地域包括ケア実習						
科目名(英)	Community-based comprehensive care training						
単位数	1単位	時間数	45時間	担当者	専任教員 臨床実習指導者		
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として施設勤務		
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 3年						
授業概要	臨床実習指導者の指導のもと、通所または訪問リハビリテーションにおけるリハビリテーションチームに参加し、生活支援を目的としたマネジメント、多職種連携、行政の連携、地域住民との繋がりなどについて経験する。これらの経験から地域生活支援における作業療法士の役割についても学ぶ。						
授業形式	講義:	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	目標		
		○		○	介護保険・地域包括ケアシステムについて理解できる。		
		○			臨床実習指導者のもと、通所・訪問リハビリテーションにおける作業療法士の専門性や役割について理解できる。		
		○	○	○	臨床実習指導者の指導のもと、利用者および家族に対する支援の在り方を理解できる。		
		○			臨床実習指導者の指導のもと、各種会議に参加し多職種連携の実践を理解できる。		
	○	○		○	将来の地域包括ケアシステムの在り方を考えることができる。		
テキスト・教材 参考図書	1) 地域包括ケア実習ガイダンス						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1						
	2						
	3	●地域包括ケア実習事前セミナー:4月5日(火)~4月16日(土)もしくは7月4日(月)~7月9日(土)					
	4	・実習における感染対策やリスク管理に関する講義を実施する。 ・介護保険や地域包括ケアシステムに関する自己学習を行う。					
	5	●地域包括ケア実習:①6月20日(月)~6月25日(土)または②9月12日(月)~10月1日(土)のうち1週間					
	6	※施設の就業規定に応じて1週間実施(5日/週を基本とする)					
	7	●地域包括ケア実習事後セミナー:必要に応じて実施する。					
	8	・各施設で学んだことを共有するグループワークと報告会を実施する。 ・提出課題について、担当教員よりフィードバックを受ける。					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	実習成績報告書に基づく臨床実習指導者による採点と学校への提出物、実習後セミナーでの報告、態度・参加状況などを総合的に判断して100点満点で判定する。 成績評価基準はA(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実習課題の遂行		◎	◎	◎		60%
	提出課題		◎		◎		20%
	発表		◎		◎		20%
履修上の注意							

科目名	臨床実習Ⅱ									
科目名(英)	Clinical training Ⅱ									
単位数	11単位	時間数	495時間	担当者	専任教員 臨床実習指導者					
実施年度	2022年度	実施時期	後期	担当者実務経験	作業療法士として病院勤務					
対象学科・学年	作業療法学科 昼間部 3年生									
授業概要	臨床実習指導者の指導のもと、作業療法士として求められる倫理観や基本的態度を身につけ、リハビリテーションチームの一員として行動できるようになる。また、様々な疾患・状態の症例に対して、作業療法過程における評価計画立案、作業療法評価、治療プログラムの立案・実施等の臨床技能を経験する。併せて、臨床思考過程についても経験し、理解できることを 目的とする。									
授業形式	講義:	○	演習:	○	実習:	○	実技:		※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○			○		臨床実習指導者の指導のもと、作業療法士に求められる倫理観や基本的態度を習得できる。				
		○	○	○		臨床実習指導者の指導のもと、作業療法過程における臨床技能・思考過程を経験し習得できる。				
		○		○		一事例の作業療法過程を症例経験報告書(またはMTDLP報告書)に整理し報告することができる。				
テキスト・教材 参考図書	1)臨床実習ガイドンス 2)PT・OTのための臨床技能とOSCE(コミュニケーションと介助・検査測定編) 3)PT・OTのための臨床技能とOSCE(機能障害・能力低下への介入編)									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1									
	2									
	3									
	4									
	5	●臨床実習Ⅱ 事前セミナー:7月4日(月)~7月9日(土) ・実習における感染対策やリスク管理に関する講義を実施する。 ・OSCEを用いて、臨床技能の実技試験を実施する。								
	6									
	7	●臨床実習Ⅱ:7月11日(月)~9月10日(土) ・施設の就業規定に応じて9週間実施(5日/週を基本とする)								
	8									
	9	●臨床実習Ⅱ 事後セミナー:9月12日(月)~10月1日(土) * 上記期間の2週間とする。								
	10	・各施設で学んだことを共有するグループワークと症例報告会を実施する。 ・提出課題について、担当教員よりフィードバックを受ける。								
	11	・OSCEを用いて、臨床技能の筆記試験を実施する。								
	12									
	13									
	14									
15										
評価方法	実習成績報告書に基づく臨床実習指導者による採点と学校への提出物、実習後セミナーでの症例報告、OSCEなどを総合的に判断して100点満点で判定する。 成績評価基準はA(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	実習課題の遂行		◎	◎	◎		60%			
	提出課題		◎		◎		20%			
	症例報告		◎		◎		10%			
OSCE		◎	◎			10%				
履修上の注意										